

学校適正配置(学校統合など)の方針に関する説明会でのご質問・ご意見

【6/25(金)：脇田小学校】

	項目	質問・意見	回答
1	小中一貫校の仕組みについて	小中一貫校になると、同じ敷地に小学校と中学校ができるのでしょうか。仕組みがわからないので教えてください。	義務教育は通常、小学校6年間と中学校3年間に分けられています。それを9年間の義務教育期間をかけて子どもたちを育てていくという考え方が小中一貫校です。 背景には、小学校から中学校へ上がったときに環境が変わることによって色々な問題がある「中1ギャップ」をなくすために9年間をひとくりにして、一つの目標に向かって子どもたちを育てていこうというところがあります。
2	制服について	制服はどうなりますか。(小中一貫校なら小学校から制服になるのかなど)	制服がどうなるのかなど、ご心配なことがあるかとは思いますが、その点はこれから、保護者の方々や地域の方々と一緒に議論する場を設けて、しっかりと考えていこうと思っております。
3	35人学級について	国が小学校・中学校の35人学級を進める中で、小中一貫校とすることは大丈夫なのでしょうか。	35人学級については、国の基準で学級編成をしていきますので、必要となる教室数等を新しい学校の整備計画に反映していきたいと考えています。
4	学校行事について	小中一貫校になった場合、運動会などの学校行事はどのようにされていくのが心配です。	学校行事は、小学校と中学校が合同で行うことでより有意義なもの、小中一貫校では合同で行うこともありますし、発達段階に応じて小学校・中学校それぞれの段階で行う方が良ければこれまでのように行っていきます。子どもたちにとってどうしていくのが一番よいのかということ、これからしっかり議論して考えていきます。

	項目	質問・意見	回答
5	特別教室について	調理室、美術室、音楽室については、小学生と中学生の体格の違いがある中で、それぞれに合わせた部屋をつくるのか、同じものを使うのかなど対応はどのようにになりますか。	特別教室については、小学生と中学生の体格は違いますので、その体格に合った教室が複数必要になります。例えば、プールは水深の問題がありますので、一つのプールで運営するかどうかについては既に全国で小中一貫校を運営されている先進事例を研究しながら運営等を含めて検討していきます。
6	地域への学校開放について	地域とのつながりを大切にするために、教室や体育館の貸出など学校を地域に開放することについてはどのようにされるのですか。	学校と地域とのつながりは、今後積極的にしていかなければならないと考えております。新しい学校を建設していく中で地域の方々にどう関わっていただくかという点で、地域の人たちが入ってきやすいような配置や動線の整理が必要になります。 新校をつくるときには、地域の人たちが子どもたちと取り組むことができるような環境を物理的に作れるような施設づくりを目指していきたいと考えております。
7	学校の安全面について	地域の人たちが学校に入って来ることはとてもいいことだと思いますが、いろいろ事件もありますので、安全面も十分に話し合いされていていい学校を創っていただきたいと思います。	防犯面については、本当に大事な点ですので、いただいた意見を参考にしながら対応していきたいと思います。
8	通学路の安全について	安全の面として、三ツ島6丁目は学校からとても離れているし、交通量の多い道を渡って通学している。道を広げていくなど、通学路の安全対策はどのように考えられているのでしょうか。	三ツ島6丁目からの通学路については実際に歩き、危ないところは承知しております。皆様の意見を伺いながら、交通専従員の配置を含めていろいろな方法を考えることができると思いますので、色々なご意見を聞きながら子どもたちの安全確保に向けて進めていきたいと思います。
9	引っ越しした場合の対応について	小中一貫校の授業と一般の学校の授業との違いで、例えば、引っ越しした場合にどうなるのかを知りたい。	小学校・中学校それぞれに学習指導要領というものあり、基本はそれに応じた学習や教育課程をしっかりと進めていきますので、ほかの学校に引っ越しした場合でも、違うことをしているということはありません。